

5 - 7 富士川・駿河湾地方における地殻変動観測（その26）

Crustal Movement Observation in the Fuji River and the Suruga Bay Area (Part 26)

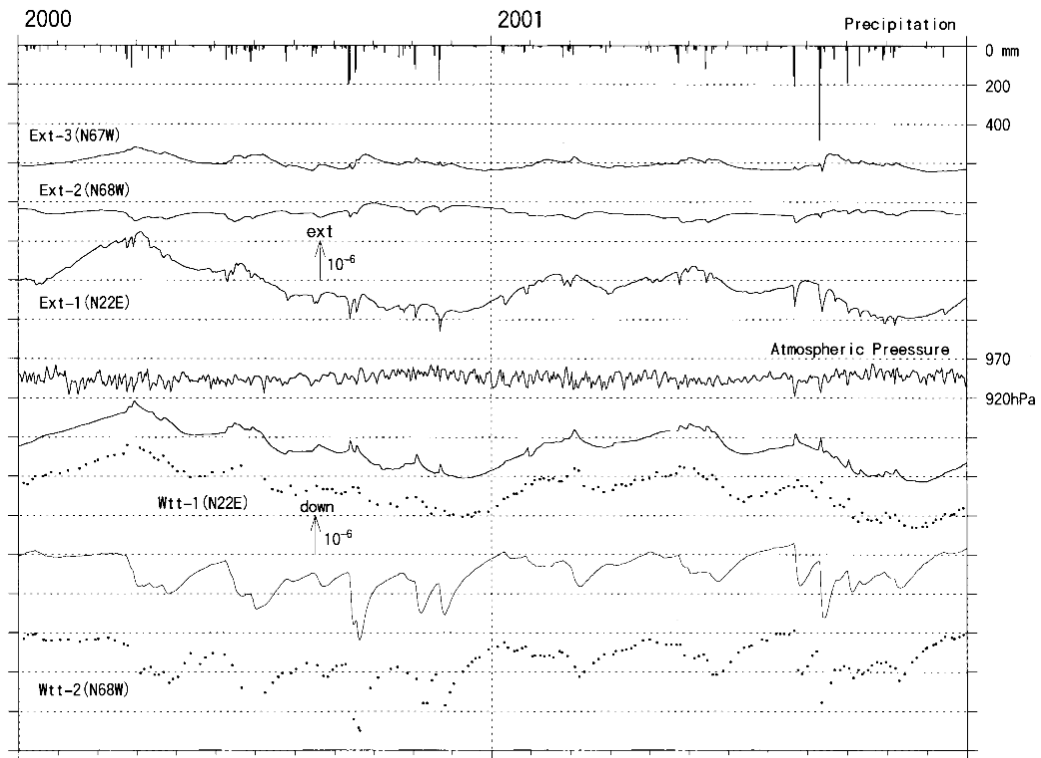
東京大学地震研究所
地震地殻変動観測センター
富士川地殻変動観測所
Fujigawa Crustal Movmet Observatory
Earthquake Observation Center
Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

前報¹⁾に引き続き富士川観測所における2000年から2001年の地殻変動観測結果について報告する。第1図は水晶管伸縮計(Ext), フロート型水管傾斜計(Wtt), 気圧の日平均値, 読取型水管傾斜計の読取値と, 日雨量を示す。例年の様に記録の随所に降雨の影響が見られるが特に大きな変動は見うけられない。

第2図に1970年7月から2000年までの水晶管伸縮計の日平均値と日雨量を, 第3図は読取型水管傾斜計の読取値と日雨量を, 第4図には読取型水管傾斜計の月平均値とその12ヶ月移動平均値と月別雨量を示す。第5図には移動平均値に基づく傾動ベクトル図を示す。観測坑掘削方向への揺らぎを伴いながら南東方向への傾動がみられるが, 第4図を見ると1998年8月頃よりW-1成分は停滞し, W-2成分の傾動が顕著になっており, 第5図を見ると東南東方向への傾動が顕著に続いている。第6図は伸縮計の月平均値からフィルター操作により長周期変化を取り出した図であるが, 伸縮計においてもEXT-1, 2において1998年頃より変化が見られる。

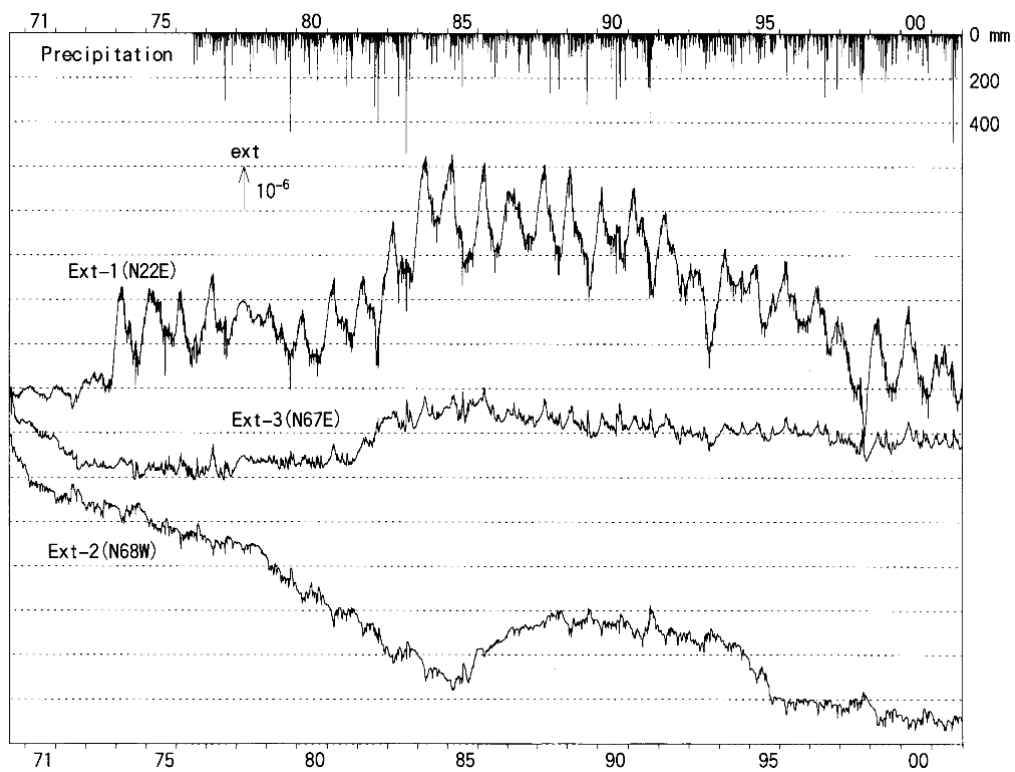
参 考 文 献

- 1) 東京大学地震研究所 地震地殻変動観測センター 富士川地殻変動観測所：富士川・駿河湾地方における地殻変動観測（その25）, 連絡会報66（2001年）, 330-333.



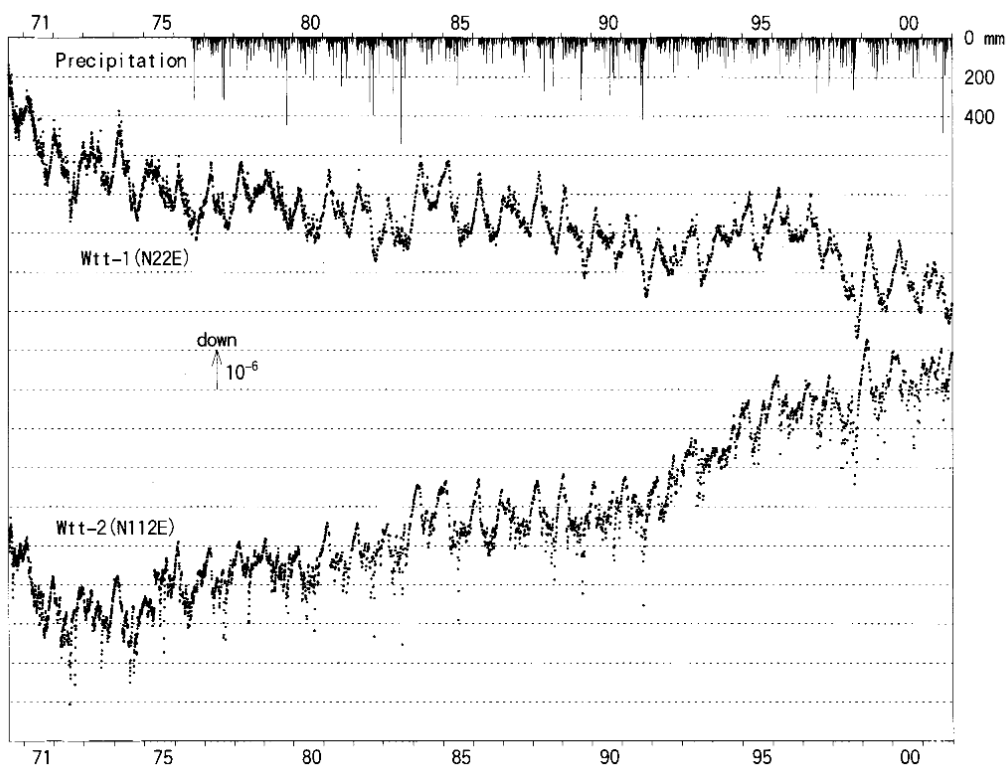
第 1 図 富士川観測所における水晶管伸縮計・水管傾斜計（実線 = フロート型・黒丸 = 読取型）記録，気圧の日平均値記録および日降雨量（2000 年，2001 年）。

Fig.1 The earth's strain, tilt(solid lines=float type WTT, dots=reading type WTT), atmospheric pressure (daily mean) and daily precipitation at the Fujigawa observatory in the period from 2000 to 2001.

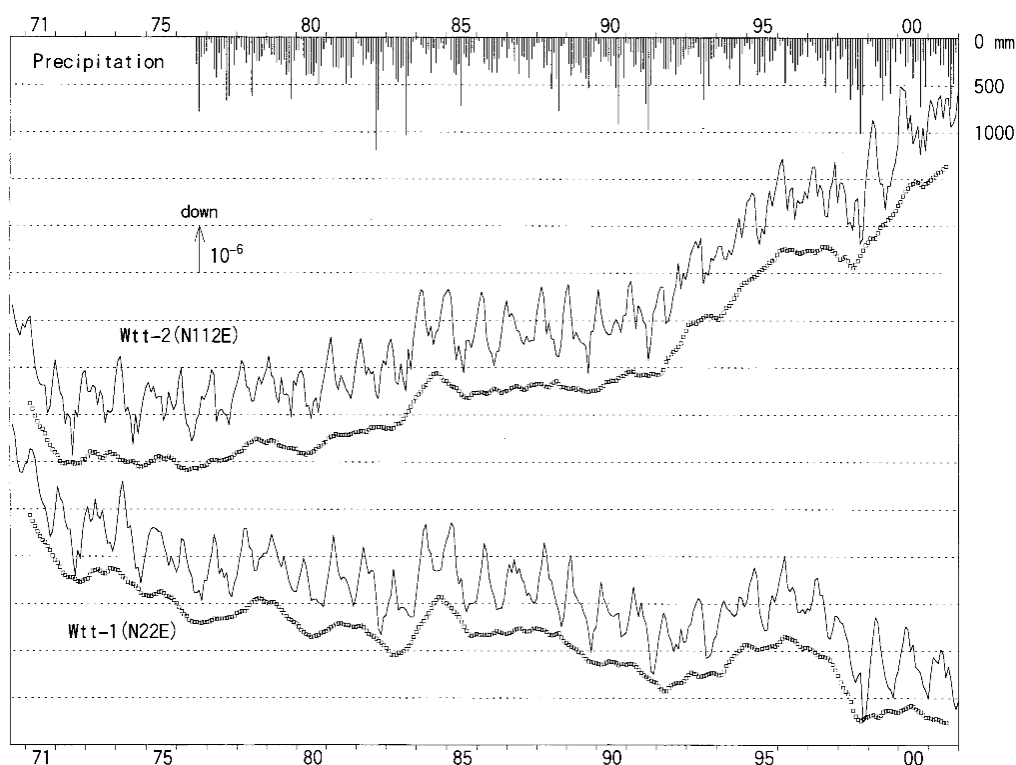


第 2 図 富士川観測所における水晶管伸縮計により観測された歪の日平均値の変化および日雨量。

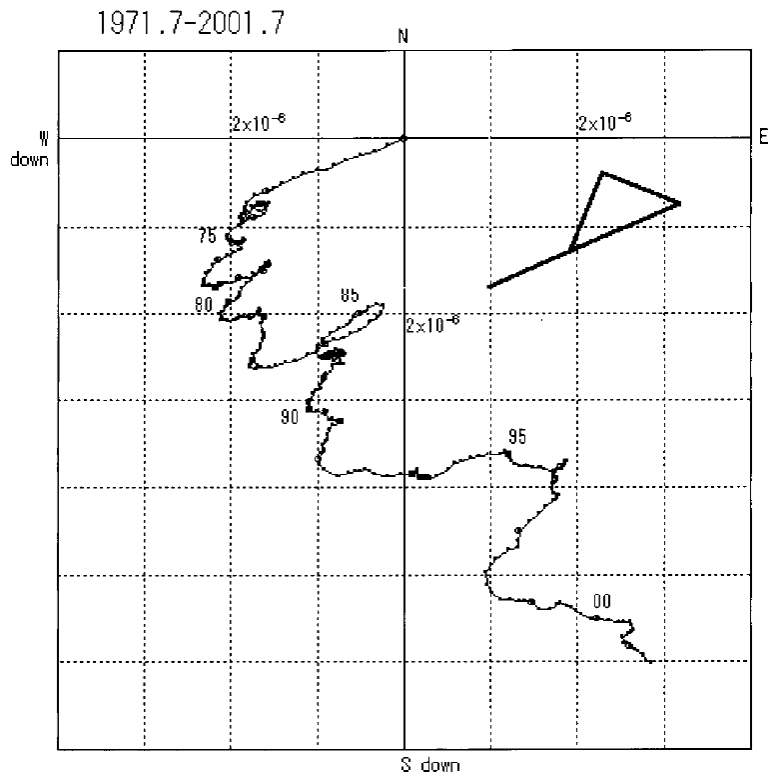
Fig.2 Daily mean strain data observed by extensometers and daily precipitation data.



第 3 図 富士川観測所における読取型水管傾斜計により観測された傾斜変化の読取値および日雨量 .
 Fig.3 Daily mean tilt data observed by water-tube tiltmeters and daily precipitation data.

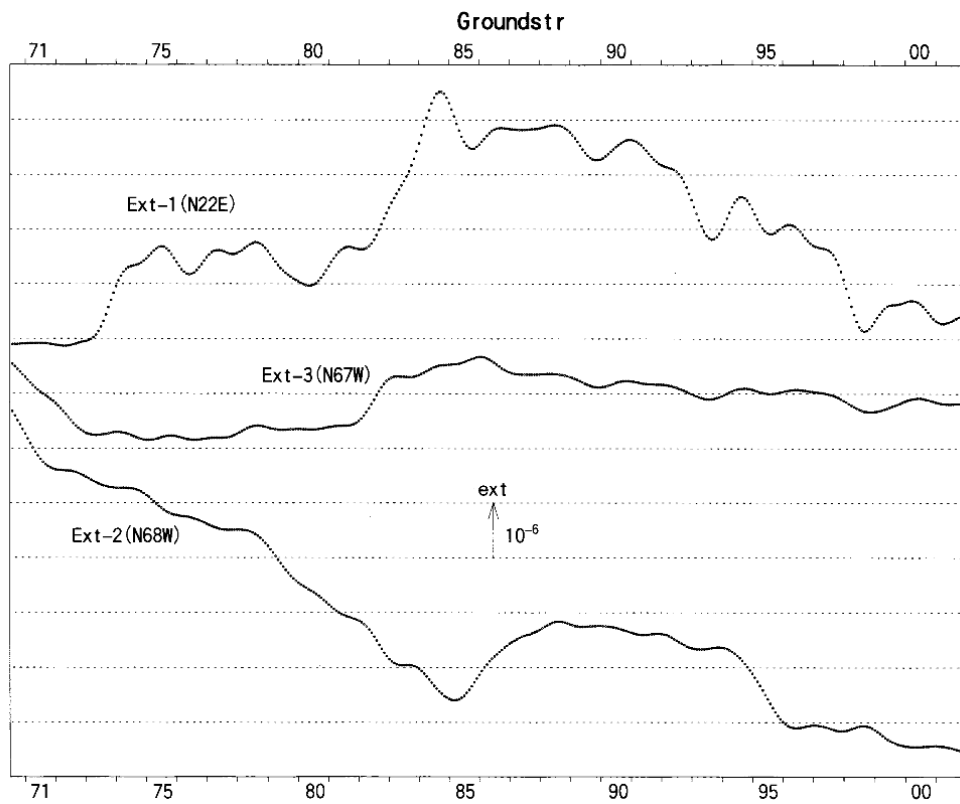


第 4 図 読取型水管傾斜計により累積傾斜変化 (□ = 12 ヶ月移動平均値・実線 = 月平均値) および
 月別雨量 .
 Fig.4 Cumulative tilt change observed by reading type WTT (squares=12 month's running mean, solid
 lines=monthly mean).



第5図 読取型水管傾斜計による永年傾動ベクトル(12ヶ月移動平均値)。

Fig.5 Vectorial presentation of filtered secular change in the ground tilt.



第6図 伸縮計により観測された歪変化の月平均値の長周期変化。

Fig.6 Long period variation in monthly mean strain change by extensometers.